

The Faculty of Art and Design
University of Toyama

teacher's gallery

紀要ギャラリー：教員作品

P.52 武山良三 ・ 内藤裕孝

P.54 中村滝雄 ・ 西島治樹

P.56 長谷川総一郎 ・ 林 暁

P.58 ペルトネン純子 ・ 丸谷芳正

P.60 横山天心 ・ 渡邊雅志



教員名：
武山 良三
Ryoza Takeyama
専門分野：
サインデザイン



作品名 : ほたるいかUSBメモリー(富山県産)
共同制作 : 竹村 譲、武山 良三(企画・デザイン)
丸山 達平(立体造形・原型制作)
河原 邦博・株式会社ソリッドアライアンス
(製造・販売)
制作協力 : ほたるいかミュージアム
寸法 : H. 77 × W. 42 × D. 20 mm
材質 : 樹脂に塗装
制作年 : 2006年
備考 : TOYAMA ADC 2007 準グランプリ
: MoMA Destination Japan 2008 選定品

写真上 : メモリ内部にはほたるいかを紹介するホームページやデスクトップ用の壁紙データがプリインストールされている。

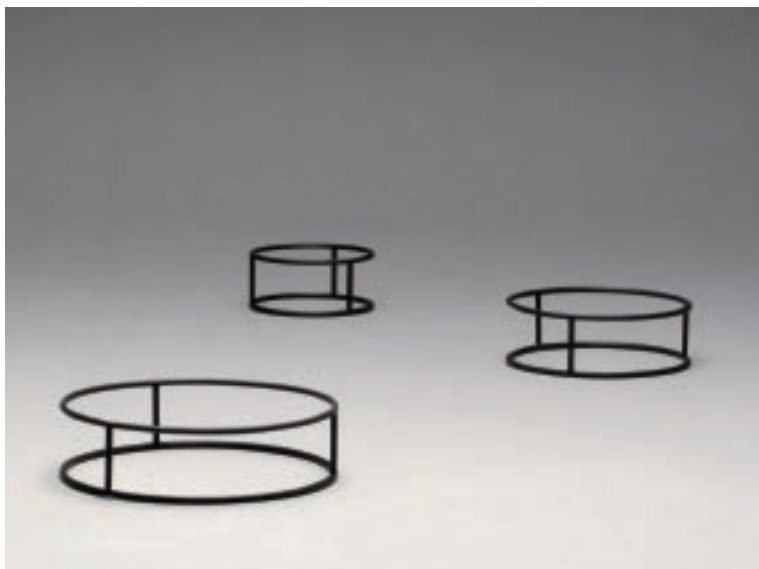
写真下 : データ転送中は、青白く光る本体。パッケージもスーパーマーケットに置かれているようなイメージでデザイン。



教員名：
内藤 裕孝
Hiroataka Naito
専門分野：
家具デザイン、プロダクトデザイン



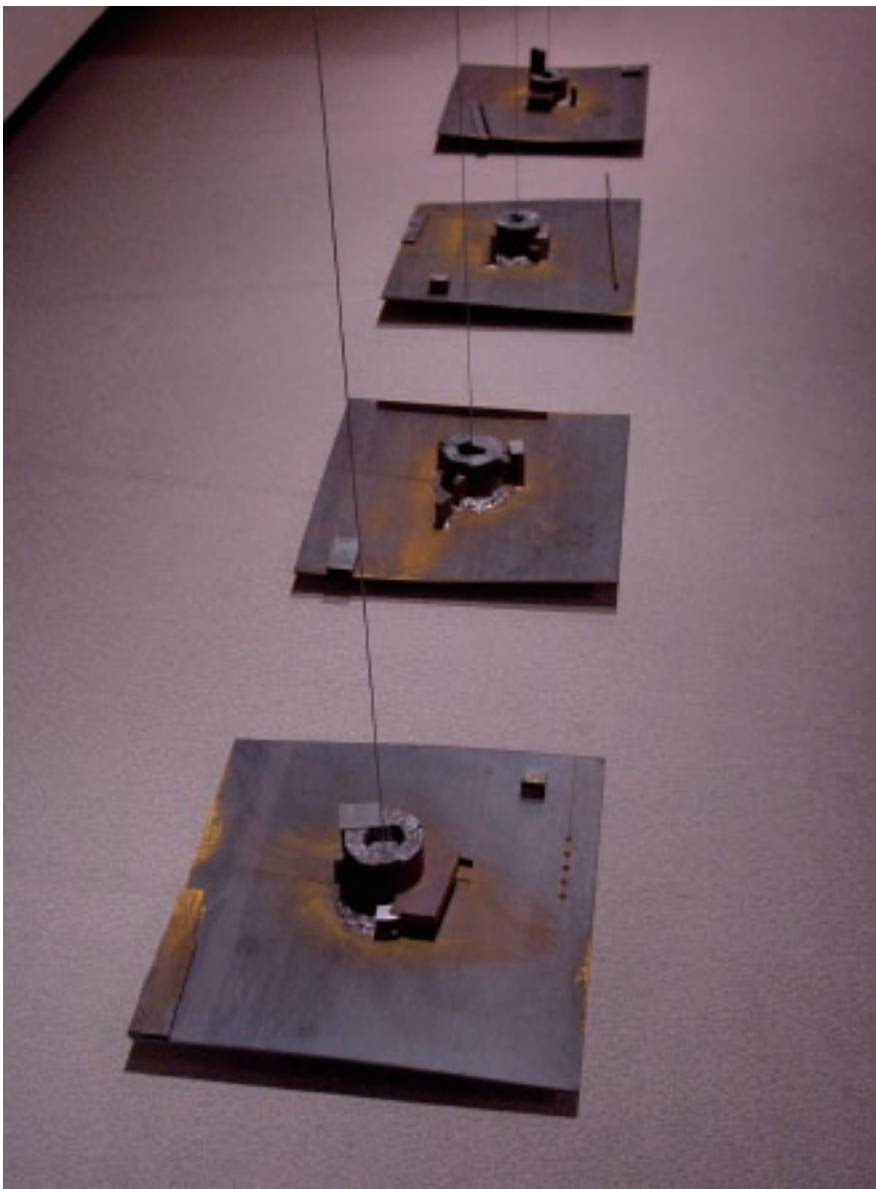
作品名 : スタッキング ベンチ
寸法 : W1,300 × D380 × H390mm
素材 : タモ
技法 : 指物技法
制作年 : 2008 年
設置場所 : 大法寺(高岡市)



作品名 : enn(ポットスタンド)
寸法 : φ 90、120、150 × H140mm
素材 : ブロンズ
技法 : ロストワックス casting、黒染め
制作年 : 2007年
展覧会名 : 工芸都市高岡2007クラフト展 入選



教員名：
中村 滝雄
Takio Nakamura
専門分野：
金属造形



作品名 : 共振 - Heat and Iron Level -
寸法 : H 5,850 × W 6,150 × D 1,300 mm
素材 : 鉄、ワイヤー
制作年 : 2008 年
展覧会名 : 富山県立近代美術館企画
「とやま現代作家シリーズ - 時の中で -」
開催場所 : 富山県立近代美術館
備考 : 招待出品

中央に鉄塊を溶接した厚さ 9mm の鉄板をワイヤーで吊るし、床から 130mm 浮遊させた。床の平面と溶接の熱による鉄板の歪み、質量とテンションを対比させてセッティングした。



教員名：
西島 治樹
Haruki Nishijima
専門分野：
媒体芸術



作品名 : Choppy
分野 : インタラクティブ・アートワーク
制作年 : 2007年
展覧会名: ヒミング・蔵再生プロジェクト
開催場所: 富山県氷見市・本川邸

車窓から見える氷見の風景が玄関の窓に映し出されている。近づいて窓の隙間に手や洋服をかざしてみてください。格子戸の間・ガラス上部の透明部分から、映像にリンクした通り名やそこにふさわしいフランスの詩が、穏やかに、そして唐突に文字として読み取れます。



教員名：
長谷川 総一郎
Souichiro Hasegawa
専門分野：
彫刻制作、美術教育



作品名 : HOKORAXX
寸法 : H 840 × W 1,610 × D 330 mm
素材 : 小枝、自然古材、鉄、花崗岩
重量 : 90 kg
展覧会名 : 第 61 回二紀展 (会員出品)
展覧会会場 : 新国立美術館 (六本木)
出品年 : 2007 年 10 月



作品名 : HOKORAXXIV
寸法 : H 1,510 × W 2,130 × D 300 mm
素材 : 樟材、焼黒に金箔、家屋古材、真鍮、花崗岩
重量 : 75 kg
展覧会名 : となみ野アート
展覧会会場 : 北日本新聞社砺波支社
展覧会期 : 2006 年 3 月
備考 : 招待個展



教員名：
林 暁
Satoru Hayashi
専門分野：
美学、漆工芸



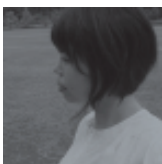
「乾漆朱塗食籠」
第43回日本伝統工芸展
(日本工芸会会長賞)

乾漆造りの朱塗りの食籠。十二稜の外形に外側は朱、内側は黒の呂色磨きによって仕上げている。中に黒塗りの懸子が納まる。



「乾漆朱溜塗盤」
第49回日本伝統工芸展出品

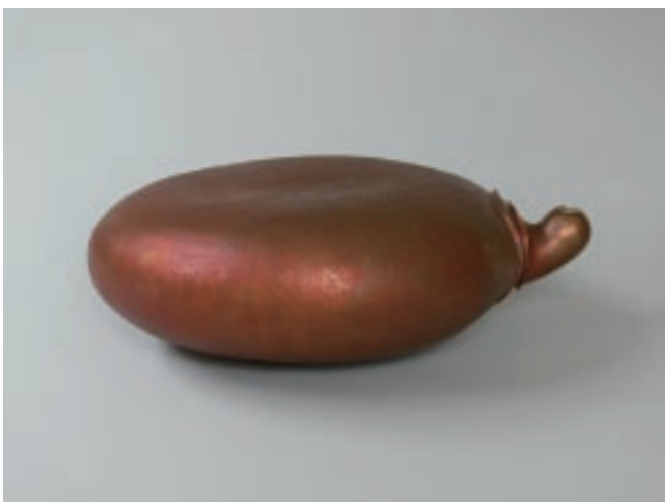
長手の乾漆造りによる少し高めの高台を持った盛器である。船を設計するときのような手法で線図を描き制作したもので、第19回日本伝統漆芸展出品作の連作。仕上げは朱溜塗、高台内部は黒呂色漆の呂色磨き仕上げとなっている。



教員名：
 ペルトネン 純子
 Junko Peltonen
 専門分野：
 金属工芸、美術教育



作品名 : 蕃蕪文花器
 寸法 : 600 × 600 × 650 mm
 素材 : 銅
 制作年 : 2008 年
 展覧会名 : 第 6 3 回富山県美術展
 備考 : 県展新人賞



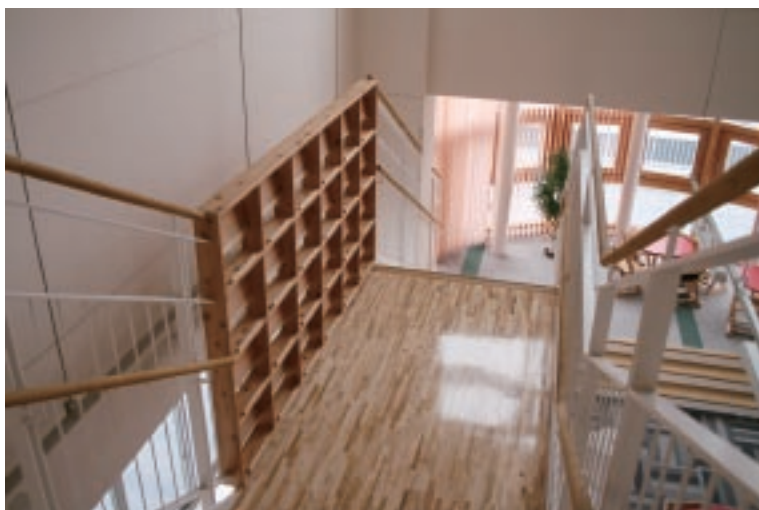
作品名 : 蕃(つぼみ)
 寸法 : 600 × 550 × 25 mm
 素材 : 銅、銀
 制作年 : 2006 年
 展覧会名 : 第 4 回現代工芸美術家協会富山会公募展
 備考 : 現代工芸美術家協会富山会 会長賞



作品名 : Beginning
 寸法 : φ 23 mm
 素材 : 14K、銅、銀、赤銅
 制作年 : 2006 年



教員名：
丸谷 芳正
Kunimasa Maruya
専門分野：
家具デザイン



滑川市立西部小学校は、児童数増加に伴い増築・大規模改修工事が行われている。図書室の家具デザイン製作を担当した。建築計画全体が杉の間伐材を利用しているため、家具も間伐材を活かしたデザインを心がけた。椅子は1サイズで1年生から6年生まで利用できるユニバーサルデザイン。テーブルは杉を50%圧縮し筆記に耐えられるように表面硬度を配慮した設計を行った。椅子96脚、テーブル大中小含め17台、司書机椅子1セット、書架1セット。2008年3月設置。



教員名：
横山 天心
Tenshin Yokoyama
専門分野：
建築デザイン

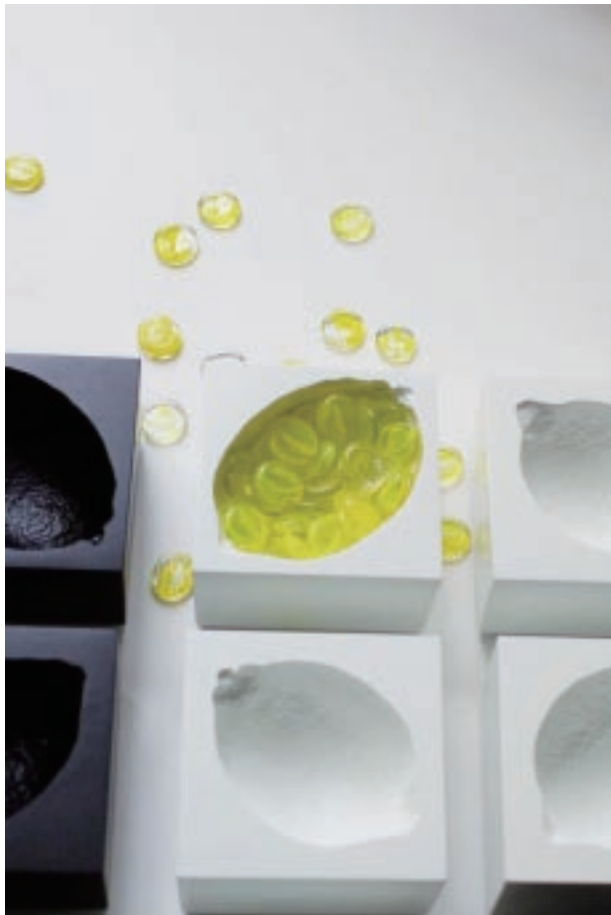


作品名 : House O
 作品仕様 : 木造2階建 延床: 117㎡
 制作年 : 2007年1月～2008年4月
 発表場所 : 富山県南砺市高瀬
 共同設計者 : 山田秀徳

周りの住宅に合わせて、接道面（西面）に駐車スペースと前庭を設け、北面・南面・東面から十分な通風を確保できるよう距離を置いて住居を配置した。この家は多数の開口部を有した薄い壁を対にした二重の内壁で四つのスペース（1階はキッチンとダイニングとリビングと浴室・トイレ、2階は主寝室と子供部屋2つとバックヤード）に分けられており、その天井面を全てトップライト、外壁側の壁を全面窓としている。光でみちあふれる内壁内部から内壁の開口部を介して光が漏れ、各部屋は四面採光によって、曇りが長らく続く北陸の冬においても十分明るい室内空間となっている。また、対面した開口部をずらすことにより、個室の視覚的なプライバシーを確保しながら、どの部屋にいても家全体とつながっているという感覚を意識できるように計画されている。



教員名：
渡邊 雅志
Masashi Watanabe
専門分野：
プロダクトデザイン



作品名 : KUBOMI
寸法 : W83 × D83 × H44
素材・仕上 : アルミ、塗装
制作年 : 2007年
展覧会名 : Design Wave 2007 in Toyama
開催場所 : ウイング・ウイング高岡



作品名 : 県産杉間伐材ベンチ
寸法 : W 3,240 × D 350 × H 700 mm
素材・仕上 : 杉間伐材、オイルフィニッシュ
制作年 : 2008年
制作 : 設計工房M and M、タカハタ工業
設置場所 : 高岡駅前末広通り